

農業の六次産業化に最適 オオシロ咲きフラワーの活用

1 本体となる観賞植物、庭木等の幼木生産(一次産業)

オオシロ咲きフラワーは幼木を用いるので作期短縮、密植栽培、周年栽培、周年出荷が可能なことによって植物類の集約栽培が実現し、経営の効率化が大幅に促進される。

2 加工(二次産業)

本体に造花を取り付けて製品化する。花の好きな女性が活け花を楽しむ感覚で本体に造花を取り付け、優美な観賞植物として楽しく仕上げる作業は女性の生き甲斐づくりにもなり、新しい職場を創出することになります。

3 販売(三次産業)

生産農家の庭先販売や JA 直売店の新たな魅力的商品として収益の拡大が期待できる。

4 農業の六次産業化

以上のように、一次から二次、三次産業へ一貫経営する農業の六次産業化は、各段階における付加価値をダイレクトに獲得する最も効率的な経営として今後が大いに期待されています。

5 オオシロ咲きフラワーの活用は国の重要施策を先取り

現政権は「地方創生」「女性の活躍推進」「儲かる農業」等を重要施策として、今後の推進を明言しています。

オオシロ咲きフラワーの活用による農業の六次産業化は、何れもこれらの重要施策を先取りする内容であり、しかも実用新案権に護られて、独占的な生産、販売ができることは大きなメリットと云えます。